

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 新潟県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	松代病院	2	新潟市	新潟市民病院	20
-	柿崎病院	3	見附市	見附市立病院	21
-	津川病院	4	上越市	上越地域医療センター病院	22
-	妙高病院	5	阿賀野市	あがの市民病院	23
-	リウマチセンター	6	佐渡市	佐渡市立両津病院	24
-	坂町病院	7	魚沼市	堀之内病院	25
-	六日町病院	8	魚沼市	小出病院	26
-	加茂病院	9	南魚沼市	ゆきぐに大和病院	27
-	十日町病院	10	南魚沼市	南魚沼市民病院	28
-	小出病院	11	湯沢町	湯沢病院	29
-	中央病院	12	津南町	津南病院	30
-	吉田病院	13	さくら福祉保健事務組合	南部郷厚生病院	31
-	がんセンター	14			
-	新発田病院	15			
-	精神医療センター	16			
-	魚沼基幹病院	17			
-	県央基幹病院	18			
-	燕労災病院	19			

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 松代病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,656 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	63.2	51.3	52.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	63.2	51.3	52.9
平均在院日数(一般病床のみ)		21.8	22.0	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	856,324			
1 経常収益	856,324			
(1) 医業収益	452,066			
(うち修正医業収益)	424,551			
入院収益	247,462			
外来収益	160,074			
診療収入計	407,536			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	44,530			
(うち他会計負担金)	27,515			
(2) 医業外収益	404,258			
(うち国・都道府県補助金)	836			
(うち他会計補助・負担金)	375,340			
(うち長期前受金戻入)	12,275			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	858,837			
2 経常費用	858,837			
(1) 医業費用	840,620			
職員給与費	581,738	128.7	59.4	87.7
材料費	58,873	13.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	21,339	4.7	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,618	6.6	11.8	5.9
減価償却費	35,892	7.9	8.7	12.7
経費	161,398	35.7	22.1	45.1
(うち委託料)	89,753	19.9	11.7	21.3
研究研修費	1,180			
資産減耗費	1,539			
(2) 医業外費用	18,217			
(うち支払利息)	640	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-2,513			
純損益	-2,513			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.7		103.3	101.7
医業収支比率	53.8		85.5	62.5
修正医業収支比率	50.5		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	47.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	89.1		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	47.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	52.8		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	383,865	402,855
資本勘定繰入	23,222	28,143
計	407,087	430,998

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 柿崎病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,492 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	61.0	67.7	60.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	61.0	67.7	60.5
平均在院日数(一般病床のみ)		27.9	25.5	23.6

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,166,079,268
標準財政規模(千円)	548,180,873
財政力指数	0.45127
経常収支比率(%)	93.2
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 18.2 303.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,055,797			
1 経常収益	1,055,797			
(1) 医業収益	617,912			
(うち修正医業収益)	583,188			
入院収益	377,432			
外来収益	191,813			
診療収入計	569,245			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	48,667			
(うち他会計負担金)	34,724			
(2) 医業外収益	437,885			
(うち国・都道府県補助金)	438			
(うち他会計補助・負担金)	422,316			
(うち長期前受金戻入)	8,595			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,052,822			
2 経常費用	1,052,822			
(1) 医業費用	1,030,770			
職員給与費	718,044	116.2	59.4	76.5
材料費	66,383	10.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	24,597	4.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,840	5.3	11.8	6.4
減価償却費	37,003	6.0	8.7	11.5
経費	206,467	33.4	22.1	32.6
(うち委託料)	92,766	15.0	11.7	14.8
研究研修費	1,177			
資産減耗費	1,696			
(2) 医業外費用	22,052			
(うち支払利息)	493	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	2,975			
純損益	2,975			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		103.3	101.5
医業収支比率	59.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	56.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	43.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	74.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	43.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	56.9		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一 負債	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ 一 負債	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	433,637	457,040
資本勘定繰入	13,643	9,058
計	447,280	466,098

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 津川病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,883 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	67	47.2	47.1	44.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	67	47.2	47.1	44.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	19.8	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,266,788			
1 経常収益	1,266,788			
(1) 医業収益	656,283			
(うち修正医業収益)	611,814			
入院収益	377,366			
外来収益	223,291			
診療収入計	600,657			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,626			
(うち他会計負担金)	44,469			
(2) 医業外収益	610,505			
(うち国・都道府県補助金)	1,886			
(うち他会計補助・負担金)	584,979			
(うち長期前受金戻入)	10,843			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,250,547			
2 経常費用	1,250,547			
(1) 医業費用	1,223,687			
職員給与費	765,313	116.6	59.4	76.5
材料費	80,607	12.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	24,802	3.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,722	7.3	11.8	6.4
減価償却費	72,072	11.0	8.7	11.5
経費	301,930	46.0	22.1	32.6
(うち委託料)	117,061	17.8	11.7	14.8
研究研修費	1,407			
資産減耗費	2,358			
(2) 医業外費用	26,860			
(うち支払利息)	496	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	16,241			
純損益	16,241			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		103.3	101.5
医業収支比率	53.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	50.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	49.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	95.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	49.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	51.0		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	599,136	629,448
資本勘定繰入	15,760	10,273
計	614,896	639,721

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>				都道府県名 新潟県
市町村・組合名				
病院名	妙高病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	5,084 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	56	53.5	57.3	61.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	53.5	57.3	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		24.6	23.0	25.4

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,166,079,268
標準財政規模(千円)	548,180,873
財政力指数	0.45127
経常収支比率(%)	93.2
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 18.2 303.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,081,223			
1 経常収益	1,081,223			
(1) 医業収益	564,668			
(うち修正医業収益)	530,000			
入院収益	320,268			
外来収益	194,932			
診療収入計	515,200			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	49,468			
(うち他会計負担金)	34,668			
(2) 医業外収益	516,555			
(うち国・都道府県補助金)	1,349			
(うち他会計補助・負担金)	492,316			
(うち長期前受金戻入)	16,156			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,082,303			
2 経常費用	1,082,303			
(1) 医業費用	1,057,759			
職員給与費	673,822	119.3	59.4	76.5
材料費	65,108	11.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	23,113	4.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,279	5.9	11.8	6.4
減価償却費	87,669	15.5	8.7	11.5
経費	226,375	40.1	22.1	32.6
(うち委託料)	106,797	18.9	11.7	14.8
研究研修費	1,315			
資産減耗費	3,470			
(2) 医業外費用	24,544			
(うち支払利息)	950	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,080			
純損益	-1,080			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		103.3	101.5
医業収支比率	53.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	50.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	48.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	93.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	48.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	51.2		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	505,449	526,984
資本勘定繰入	20,986	18,208
計	526,435	545,192

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名			
病院名	リウマチセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,303 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	66.1	66.5	71.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	66.1	66.5	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	17.5	17.6

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,166,079,268
標準財政規模(千円)	548,180,873
財政力指数	0.45127
経常収支比率(%)	93.2
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,867,880			
1 経常収益	1,867,880			
(1) 医業収益	1,422,650			
(うち修正医業収益)	1,422,650			
入院収益	938,646			
外来収益	461,610			
診療収入計	1,400,256			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	22,394			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	445,230			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	331,076			
(うち長期前受金戻入)	104,964			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,036,236			
2 経常費用	2,036,236			
(1) 医業費用	2,002,068			
職員給与費	1,095,948	77.0	59.4	67.0
材料費	454,952	32.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	349,522	24.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,316	5.9	11.8	9.4
減価償却費	156,676	11.0	8.7	10.2
経費	282,260	19.8	22.1	28.8
(うち委託料)	146,402	10.3	11.7	13.2
研究研修費	11,596			
資産減耗費	636			
(2) 医業外費用	34,168			
(うち支払利息)	1,066	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	91.7		103.3	104.5
医業収支比率	71.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	71.1		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	17.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	75.5		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	297,633	331,076
資本勘定繰入	18,595	9,447
計	316,228	340,523

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 坂町病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,223 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	148	52.2	54.6	63.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	52.2	54.6	63.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	20.5	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,777,662			
1 経常収益	2,777,662			
(1) 医業収益	1,818,334			
(うち修正医業収益)	1,749,808			
入院収益	1,092,264			
外来収益	612,532			
診療収入計	1,704,796			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	113,538			
(うち他会計負担金)	68,526			
(2) 医業外収益	959,328			
(うち国・都道府県補助金)	672,459			
(うち他会計補助・負担金)	193,814			
(うち長期前受金戻入)	81,898			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,795,754			
2 経常費用	2,795,754			
(1) 医業費用	2,738,778			
職員給与費	1,720,584	94.6	59.4	67.0
材料費	319,844	17.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	139,310	7.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	158,525	8.7	11.8	9.4
減価償却費	179,503	9.9	8.7	10.2
経費	513,226	28.2	22.1	28.8
(うち委託料)	239,189	13.2	11.7	13.2
研究研修費	3,345			
資産減耗費	2,276			
(2) 医業外費用	56,976			
(うち支払利息)	6,284	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-18,092			
純損益	-18,092			
累積欠損金	5,960,613			
経常収支比率	99.4		103.3	104.5
医業収支比率	66.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	63.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	90.0		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	187,654	262,340
資本勘定繰入	153,633	145,609
計	341,287	407,949

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名			
病院名		六日町病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,967,357			
経常収支比率	-		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	-		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,686	-
資本勘定繰入	62,824	6,887
計	65,510	6,887

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	加茂病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,862 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	156	32.7	35.9	45.4
療養	12	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	168	30.3	33.3	37.9
平均在院日数(一般病床のみ)		24.4	24.0	24.2

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,166,079,268
標準財政規模(千円)	548,180,873
財政力指数	0.45127
経常収支比率(%)	93.2
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 18.2 303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,170,353			
1 経常収益	2,170,353			
(1) 医業収益	1,213,719			
(うち修正医業収益)	1,127,703			
入院収益	691,988			
外来収益	390,272			
診療収入計	1,082,260			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	131,459			
(うち他会計負担金)	86,016			
(2) 医業外収益	956,634			
(うち国・都道府県補助金)	471,513			
(うち他会計補助・負担金)	351,460			
(うち長期前受金戻入)	117,217			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,512,607			
2 経常費用	2,512,607			
(1) 医業費用	2,398,659			
職員給与費	1,330,156	109.6	59.4	67.0
材料費	233,197	19.2	26.1	18.2
(うち薬品費)	140,802	11.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	79,954	6.6	11.8	9.4
減価償却費	428,341	35.3	8.7	10.2
経費	400,415	33.0	22.1	28.8
(うち委託料)	200,230	16.5	11.7	13.2
研究研修費	2,273			
資産減耗費	4,277			
(2) 医業外費用	113,948			
(うち支払利息)	33,046	2.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-342,254			
純損失	-342,254			
累積欠損金	18,542,394			
経常収支比率	86.4		103.3	104.5
医業収支比率	50.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	47.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	36.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	69.0		91.9	88.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	319,786	437,476
資本勘定繰入	161,536	126,381
計	481,322	563,857

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名			
病院名		十日町病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	33,349 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	275	64.7	64.5	64.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	275	64.7	64.5	64.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	18.3	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,811,378			
1 経常収益	5,811,378			
(1) 医業収益	4,362,840			
(うち修正医業収益)	4,246,584			
入院収益	3,028,655			
外来収益	1,160,265			
診療収入計	4,188,920			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	173,920			
(うち他会計負担金)	116,256			
(2) 医業外収益	1,448,538			
(うち国・都道府県補助金)	505,231			
(うち他会計補助・負担金)	530,855			
(うち長期前受金戻入)	360,778			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,271,579			
2 経常費用	6,271,579			
(1) 医業費用	5,965,414			
職員給与費	3,145,997	72.1	59.4	63.7
材料費	965,488	22.1	26.1	21.0
(うち薬品費)	494,678	11.3	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	423,715	9.7	11.8	10.1
減価償却費	726,147	16.6	8.7	9.7
経費	1,111,313	25.5	22.1	28.9
(うち委託料)	527,428	12.1	11.7	13.6
研究研修費	8,936			
資産減耗費	7,533			
(2) 医業外費用	306,165			
(うち支払利息)	49,748	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	92.7		103.3	101.8
医業収支比率	73.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	71.2		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.8		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	11.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	82.3		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一時的借入金	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リース債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	571,123	647,111
資本勘定繰入	238,659	271,090
計	809,782	918,201

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名			
病院名		小出病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,166,079,268
標準財政規模(千円)	548,180,873
財政力指数	0.45127
経常収支比率(%)	93.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	665,731			
経常収支比率	-		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	-		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,275	-
資本勘定繰入	9,931	3,675
計	11,206	3,675

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,305 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	524	75.0	74.3	74.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	1.2
計	530	74.2	73.4	73.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	12.7	13.1

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,166,079,268
標準財政規模(千円)	548,180,873
財政力指数	0.45127
経常収支比率(%)	93.2
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 18.2 303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,667,276			
1 経常収益	18,667,276			
(1) 医業収益	15,371,420			
(うち修正医業収益)	15,039,330			
入院収益	9,656,554			
外来収益	5,221,574			
診療収入計	14,878,128			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	493,292			
(うち他会計負担金)	332,090			
(2) 医業外収益	3,295,856			
(うち国・都道府県補助金)	1,301,866			
(うち他会計補助・負担金)	1,162,512			
(うち長期前受金戻入)	635,263			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,420,355			
2 経常費用	17,420,355			
(1) 医業費用	16,938,109			
職員給与費	8,425,533	54.8	59.4	52.8
材料費	5,287,904	34.4	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,093,343	20.1	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,097,127	13.6	11.8	13.9
減価償却費	924,257	6.0	8.7	7.7
経費	2,143,682	13.9	22.1	18.0
(うち委託料)	1,128,532	7.3	11.7	10.7
研究研修費	28,031			
資産減耗費	128,702			
(2) 医業外費用	482,246			
(うち支払利息)	152,732	1.0	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	1,246,921			
純損益	1,246,921			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		103.3	102.8
医業収支比率	90.8		85.5	90.3
修正医業収支比率	88.8		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	8.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	98.6		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,162,370	1,494,602
資本勘定繰入	1,048,720	1,471,417
計	2,211,090	2,966,019

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 吉田病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,771 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	35.2	38.3	39.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	35.2	38.3	39.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	18.3	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,689,162			
1 経常収益	2,689,162			
(1) 医業収益	2,121,602			
(うち修正医業収益)	2,007,021			
入院収益	899,478			
外来収益	1,056,826			
診療収入計	1,956,304			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	165,298			
(うち他会計負担金)	114,581			
(2) 医業外収益	567,560			
(うち国・都道府県補助金)	17,179			
(うち他会計補助・負担金)	462,950			
(うち長期前受金戻入)	64,881			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,557,960			
2 経常費用	3,557,960			
(1) 医業費用	3,344,719			
職員給与費	1,910,779	90.1	59.4	67.0
材料費	487,152	23.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	276,301	13.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	193,825	9.1	11.8	9.4
減価償却費	213,401	10.1	8.7	10.2
経費	722,054	34.0	22.1	28.8
(うち委託料)	341,655	16.1	11.7	13.2
研究研修費	4,634			
資産減耗費	6,699			
(2) 医業外費用	213,241			
(うち支払利息)	4,063	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-868,798			
純損益	-868,798			
累積欠損金	16,381,260			
経常収支比率	75.6		103.3	104.5
医業収支比率	63.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	60.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	27.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	21.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	59.3		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	455,052	577,531
資本勘定繰入	95,181	61,403
計	550,233	638,934

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	がんセンター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,173 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	404	71.7	74.2	69.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	404	71.7	74.2	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.6	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,601,552			
1 経常収益	16,601,552			
(1) 医業収益	14,991,384			
(うち修正医業収益)	14,729,120			
入院収益	7,266,928			
外来収益	7,090,602			
診療収入計	14,357,530			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	633,854			
(うち他会計負担金)	262,264			
(2) 医業外収益	1,610,168			
(うち国・都道府県補助金)	31,611			
(うち他会計補助・負担金)	1,293,674			
(うち長期前受金戻入)	220,065			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,066,705			
2 経常費用	17,066,705			
(1) 医業費用	16,746,742			
職員給与費	6,956,463	46.4	59.4	57.2
材料費	6,644,689	44.3	26.1	28.0
(うち薬品費)	5,082,309	33.9	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,491,691	10.0	11.8	12.7
減価償却費	846,557	5.6	8.7	8.0
経費	2,127,636	14.2	22.1	19.0
(うち委託料)	1,274,171	8.5	11.7	10.0
研究研修費	164,158			
資産減耗費	7,239			
(2) 医業外費用	319,963			
(うち支払利息)	16,013	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-465,153			
純損益	-465,153			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.3		103.3	103.2
医業収支比率	89.5		85.5	88.6
修正医業収支比率	88.0		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	9.4		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	88.2		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,324,313	1,555,938
資本勘定繰入	272,499	264,460
計	1,596,812	1,820,398

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 新発田病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	40,233 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救急が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	429	81.9	81.4	79.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	45	63.0	60.4	62.9
感染症	4	31.8	48.6	24.8
計	478	79.7	79.2	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.1	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,374,463			
1 経常収益	18,374,463			
(1) 医業収益	15,172,215			
(うち修正医業収益)	14,908,435			
入院収益	9,862,750			
外来収益	4,850,367			
診療収入計	14,713,117			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	459,098			
(うち他会計負担金)	263,780			
(2) 医業外収益	3,202,248			
(うち国・都道府県補助金)	508,700			
(うち他会計補助・負担金)	1,637,788			
(うち長期前受金戻入)	937,504			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,874,321			
2 経常費用	17,874,321			
(1) 医業費用	17,197,730			
職員給与費	8,319,939	54.8	59.4	57.2
材料費	5,376,486	35.4	26.1	28.0
(うち薬品費)	3,229,569	21.3	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,049,014	13.5	11.8	12.7
減価償却費	1,238,005	8.2	8.7	8.0
経費	2,209,534	14.6	22.1	19.0
(うち委託料)	1,175,626	7.7	11.7	10.0
研究研修費	23,253			
資産減耗費	30,513			
(2) 医業外費用	676,591			
(うち支払利息)	248,896	1.6	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	500,142			
純損益	500,142			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.8		103.3	103.2
医業収支比率	88.2		85.5	88.6
修正医業収支比率	86.7		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	10.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	92.2		91.9	93.4

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,507,180	1,901,568
資本勘定繰入	563,881	938,318
計	2,071,061	2,839,886

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 精神医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,502 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	400	31.1	30.8	32.7
感染症	-	-	-	-
計	400	31.1	30.8	32.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,961,119			
1 経常収益	2,961,119			
(1) 医業収益	1,029,565			
(うち修正医業収益)	1,029,565			
入院収益	834,968			
外来収益	181,467			
診療収入計	1,016,435			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	13,130			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,931,554			
(うち国・都道府県補助金)	1,148			
(うち他会計補助・負担金)	1,701,640			
(うち長期前受金戻入)	186,742			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,948,910			
2 経常費用	2,948,910			
(1) 医業費用	2,838,231			
職員給与費	2,028,410	197.0	59.4	105.1
材料費	119,885	11.6	26.1	9.8
(うち薬品費)	60,701	5.9	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,811	2.1	11.8	1.6
減価償却費	238,213	23.1	8.7	12.8
経費	445,980	43.3	22.1	35.3
(うち委託料)	213,494	20.7	11.7	17.0
研究研修費	3,495			
資産減耗費	2,248			
(2) 医業外費用	110,679			
(うち支払利息)	66,986	6.5	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	12,209			
純損益	12,209			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		103.3	101.8
医業収支比率	36.3		85.5	61.1
修正医業収支比率	36.3		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	57.5		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	165.3		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	57.5		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	42.7		91.9	68.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,607,809	1,701,640
資本勘定繰入	321,335	451,492
計	1,929,144	2,153,132

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 魚沼基幹病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	33,549 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	400	71.5	66.5	74.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	62.0	54.2	62.2
感染症	4	26.6	15.3	23.2
計	454	69.9	64.6	71.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.2	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,656,622			
1 経常収益	2,656,622			
(1) 医業収益	462,973			
(うち修正医業収益)	39,089			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	462,973			
(うち他会計負担金)	423,884			
(2) 医業外収益	2,193,649			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,250,333			
(うち長期前受金戻入)	943,316			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,722,064			
2 経常費用	2,722,064			
(1) 医業費用	2,495,480			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	1,023,923	221.2	8.7	8.0
経費	1,466,080	316.7	22.1	19.0
(うち委託料)	39,246	8.5	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	5,477			
(2) 医業外費用	226,584			
(うち支払利息)	103,563	22.4	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-65,442			
純損失	-65,442			
累積欠損金	1,228,598			
経常収支比率	97.6		103.3	103.2
医業収支比率	18.6		85.5	88.6
修正医業収支比率	1.6		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	63.0		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	361.6		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	63.0		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	36.1		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,317,372	1,674,217
資本勘定繰入	247,035	494,070
計	1,564,407	2,168,287

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			新潟県
市町村・組合名			
病院名	県央基幹病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	133,828			
1 経常収益	133,828			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	133,828			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	133,828			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	133,858			
2 経常費用	133,858			
(1) 医業費用	30			
職員給与費	-	-	59.4	-
材料費	-	-	26.1	-
(うち薬品費)	-	-	14.0	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	-
減価償却費	30	-	8.7	-
経費	-	-	22.1	-
(うち委託料)	-	-	11.7	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	133,828			
(うち支払利息)	-	-	1.0	-
(3) 特別損失	-			
経常損失	-30			
純損失	-30			
累積欠損金	30			
経常収支比率	100.0		103.3	95.9
医業収支比率	-		85.5	-
修正医業収支比率	-		82.8	-
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	99.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	-
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	99.7
実質収益対経常費用比率	-		91.9	0.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	133,828
資本勘定繰入	9,743	914,615
計	9,743	1,048,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名					
病院名	燕労災病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,926 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救 地 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	67.7	64.3	62.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	67.7	64.3	62.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	15.7	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,166,079,268	
標準財政規模(千円)	548,180,873	
財政力指数	0.45127	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	303.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	854,570			
1 経常収益	854,570			
(1) 医業収益	199,614			
(うち修正医業収益)	16,053			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	199,614			
(うち他会計負担金)	183,561			
(2) 医業外収益	654,956			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	134,175			
(うち長期前受金戻入)	183,654			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	882,718			
2 経常費用	882,718			
(1) 医業費用	511,388			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	183,598	92.0	8.7	8.6
経費	327,733	164.2	22.1	21.3
(うち委託料)	16,874	8.5	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	57			
(2) 医業外費用	371,330			
(うち支払利息)	497	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-28,148			
純損失	-28,148			
累積欠損金	17,381			
経常収支比率	96.8		103.3	104.8
医業収支比率	39.0		85.5	87.0
修正医業収支比率	3.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	37.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	159.2		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	37.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	60.8		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	111,479,362
1 固定資産	88,632,114
(1) 有形固定資産	83,264,624
(2) 無形固定資産	24,831
(3) 投資その他の資産	5,342,659
2 流動資産	22,847,248
(1) 現金及び預金	10,906,781
(2) 未収金及び未収収益	11,583,880
(3) 貸倒引当金( )	235,370
(4) 貯蔵品	335,672
3 繰延資産	-
負債合計	113,922,272
1 固定負債	73,594,860
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,652,236
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,435,738
(7) 一ス債務	506,886
2 流動負債	22,453,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,086,623
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,191,403
(6) リ一ス債務	202,760
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,334,458
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,874,071
(1) 長期前受金	36,208,597
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,334,526
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,442,910
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-31,431,929
(1) 資本剰余金	1,120,984
(2) 利益剰余金	-32,552,913
負債・資本合計	111,479,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,442,910
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,866	317,736
資本勘定繰入	142,701	285,402
計	357,567	603,138

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		新潟市			
病院名		新潟市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	58,109 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	652	80.0	77.0	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	26.5	27.5	27.8
感染症	8	105.3	92.4	84.1
計	676	79.0	76.0	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.5	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	789,275	
決算規模(千円)	427,945,418	
標準財政規模(千円)	238,150,751	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	126.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,717,366			
1 経常収益	27,710,436			
(1) 医業収益	22,622,965			
(うち修正医業収益)	21,841,473			
入院収益	15,422,996			
外来収益	6,036,326			
診療収入計	21,459,322			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,163,643			
(うち他会計負担金)	781,492			
(2) 医業外収益	5,087,471			
(うち国・都道府県補助金)	1,814,379			
(うち他会計補助・負担金)	1,932,880			
(うち長期前受金戻入)	1,085,647			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,930			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,746,985			
2 経常費用	27,559,453			
(1) 医業費用	25,950,619			
職員給与費	12,588,954	55.6	59.4	52.8
材料費	7,529,967	33.3	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,933,360	17.4	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,596,607	15.9	11.8	13.9
減価償却費	1,983,464	8.8	8.7	7.7
経費	3,761,516	16.6	22.1	18.0
(うち委託料)	2,400,334	10.6	11.7	10.7
研究研修費	74,105			
資産減耗費	12,613			
(2) 医業外費用	1,608,834			
(うち支払利息)	339,835	1.5	1.0	0.9
(3) 特別損失	187,532			
損益	150,983			
純損益	-29,619			
累積欠損金	5,581,847			
経常収支比率	100.5		103.3	102.8
医業収支比率	87.2		85.5	90.3
修正医業収支比率	84.2		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	9.8		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	90.7		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	29,003,815
1 固定資産	17,507,007
(1) 有形固定資産	16,842,344
(2) 無形固定資産	244,428
(3) 投資その他の資産	420,235
2 流動資産	11,496,808
(1) 現金及び預金	7,179,223
(2) 未収金及び未収収益	4,205,413
(3) 貸倒引当金( )	23,019
(4) 貯蔵品	135,182
3 繰延資産	-
負債合計	27,270,708
1 固定負債	21,840,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,839,057
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,958,637
(7) 一ス債務	43,120
2 流動負債	5,022,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,122,079
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	740,699
(6) リ一ス債務	17,719
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,032,910
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	407,330
(1) 長期前受金	14,255,479
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,848,149
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,733,107
1 資本金	7,307,820
2 剰余金	-5,574,713
(1) 資本剰余金	7,134
(2) 利益剰余金	-5,581,847
負債・資本合計	29,003,815
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,714,372	2,714,372
資本勘定繰入	1,035,792	1,035,792
計	3,750,164	3,750,164

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	見附市		
病院名	見附市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,283 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	94	88.1	78.1	77.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	94	88.1	78.1	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		24.5	22.9	21.3

設立団体の状況	
人口(人)	39,237
決算規模(千円)	18,186,362
標準財政規模(千円)	10,116,179
財政力指数	0.55
経常収支比率(%)	93.9
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 11.8 100.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,301,143			
1 経常収益	2,301,143			
(1) 医業収益	1,891,202			
(うち修正医業収益)	1,854,908			
入院収益	895,816			
外来収益	396,679			
診療収入計	1,292,495			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	598,707			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	409,941			
(うち国・都道府県補助金)	89			
(うち他会計補助・負担金)	304,706			
(うち長期前受金戻入)	81,437			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,310,287			
2 経常費用	2,309,414			
(1) 医業費用	2,245,678			
職員給与費	1,522,892	80.5	59.4	76.5
材料費	143,059	7.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	64,736	3.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,528	1.7	11.8	6.4
減価償却費	181,096	9.6	8.7	11.5
経費	388,866	20.6	22.1	32.6
(うち委託料)	188,357	10.0	11.7	14.8
研究研修費	5,853			
資産減耗費	3,912			
(2) 医業外費用	63,736			
(うち支払利息)	12,251	0.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	873			
損益	経常損益 純損益	-8,271 -9,144		
累積欠損金	1,463,969			
経常収支比率	99.6		103.3	101.5
医業収支比率	84.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	82.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	14.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	84.9		91.9	78.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,402,719
1 固定資産	2,645,844
(1) 有形固定資産	2,635,312
(2) 無形固定資産	10,532
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	756,875
(1) 現金及び預金	121,665
(2) 未収金及び未収収益	636,247
(3) 貸倒引当金( )	7,680
(4) 貯蔵品	6,643
3 繰延資産	-
負債合計	3,598,161
1 固定負債	2,136,899
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,512,730
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	624,169
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	295,368
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,698
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,850
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	116,628
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,165,894
(1) 長期前受金	2,392,598
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,226,704
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-195,442
1 資本金	1,252,245
2 剰余金	-1,447,687
(1) 資本剰余金	16,282
(2) 利益剰余金	-1,463,969
負債・資本合計	3,402,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	195,442
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	265,499	341,000
資本勘定繰入	19,819	23,200
計	285,318	364,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	上越市		
病院名	上越地域医療センター病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,956 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	142	60.4	70.7	66.6
療養	55	78.0	80.8	73.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	197	65.3	73.5	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	20.9	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	188,047	
決算規模(千円)	101,584,385	
標準財政規模(千円)	58,275,251	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	61.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,475,933			
1 経常収益	2,475,933			
(1) 医業収益	2,035,562			
(うち修正医業収益)	2,031,935			
入院収益	1,530,434			
外来収益	422,707			
診療収入計	1,953,141			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	82,421			
(うち他会計負担金)	3,627			
(2) 医業外収益	440,371			
(うち国・都道府県補助金)	155,577			
(うち他会計補助・負担金)	186,169			
(うち長期前受金戻入)	72,226			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,742,213			
2 経常費用	2,742,213			
(1) 医業費用	2,660,239			
職員給与費	7,885	0.4	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	109,071	5.4	8.7	10.2
経費	2,539,121	124.7	22.1	28.8
(うち委託料)	2,320,512	114.0	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	4,162			
(2) 医業外費用	81,974			
(うち支払利息)	11,999	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-266,280			
純損益	-266,280			
累積欠損金	95,227			
経常収支比率	90.3		103.3	104.5
医業収支比率	76.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	76.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	83.4		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,614,869
1 固定資産	2,529,931
(1) 有形固定資産	2,500,954
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	28,977
2 流動資産	1,084,938
(1) 現金及び預金	608,130
(2) 未収金及び未収収益	502,102
(3) 貸倒引当金( )	25,294
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,578,096
1 固定負債	1,538,131
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,058,271
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	479,860
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	460,299
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	152,220
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,688
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	190,391
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	579,666
(1) 長期前受金	2,636,282
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,056,616
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,036,773
1 資本金	-
2 剰余金	1,036,773
(1) 資本剰余金	1,052,000
(2) 利益剰余金	-15,227
負債・資本合計	3,614,869
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	189,796	189,796
資本勘定繰入	88,639	88,639
計	278,435	278,435

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名	阿賀野市				
病院名	あがの市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,192 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	196	63.8	62.6	68.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	63.8	62.6	68.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	17.0	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	40,696	
決算規模(千円)	22,761,644	
標準財政規模(千円)	13,030,596	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	75.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	501,720			
1 経常収益	501,720			
(1) 医業収益	4,277			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	4,277			
(うち他会計負担金)	4,277			
(2) 医業外収益	497,443			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	135,847			
(うち長期前受金戻入)	129,003			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	826,803			
2 経常費用	710,161			
(1) 医業費用	665,415			
職員給与費	5,034	117.7	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	523,858	12248.3	8.7	10.2
経費	134,292	3139.9	22.1	28.8
(うち委託料)	128,597	3006.7	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	2,231			
(2) 医業外費用	44,746			
(うち支払利息)	42,309	989.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	116,642			
損益	-208,441			
純損益	-325,083			
累積欠損金	8,663,425			
経常収支比率	70.6		103.3	104.5
医業収支比率	0.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	27.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	3276.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	27.9		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	50.9		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,151,695
1 固定資産	5,926,919
(1) 有形固定資産	5,926,387
(2) 無形固定資産	532
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	224,776
(1) 現金及び預金	162,972
(2) 未収金及び未収収益	61,804
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,020,023
1 固定負債	4,576,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,576,560
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	243,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	191,104
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	389
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	52,455
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	199,500
(1) 長期前受金	1,480,382
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,280,882
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,131,672
1 資本金	8,365,097
2 剰余金	-7,233,425
(1) 資本剰余金	1,430,000
(2) 利益剰余金	-8,663,425
負債・資本合計	6,151,695
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	41,389	140,124
資本勘定繰入	142,907	142,907
計	184,296	283,031

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	202558.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	佐渡市		
病院名	佐渡市立両津病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,097 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	48.4	52.5	54.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	48.4	52.5	54.8
平均在院日数(一般病床のみ)		23.8	19.2	19.2

設立団体の状況	
人口(人)	51,492
決算規模(千円)	47,158,099
標準財政規模(千円)	25,539,789
財政力指数	0.24
経常収支比率(%)	95.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 11.9 120.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,631,312			
1 経常収益	1,630,685			
(1) 医業収益	1,355,983			
(うち修正医業収益)	1,259,607			
入院収益	667,308			
外来収益	536,025			
診療収入計	1,203,333			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	152,650			
(うち他会計負担金)	96,376			
(2) 医業外収益	274,702			
(うち国・都道府県補助金)	17,693			
(うち他会計補助・負担金)	197,016			
(うち長期前受金戻入)	19,216			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	627			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,788,792			
2 経常費用	1,786,921			
(1) 医業費用	1,733,809			
職員給与費	965,405	71.2	59.4	76.5
材料費	170,661	12.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	66,438	4.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	95,730	7.1	11.8	6.4
減価償却費	100,653	7.4	8.7	11.5
経費	495,033	36.5	22.1	32.6
(うち委託料)	221,967	16.4	11.7	14.8
研究研修費	1,346			
資産減耗費	711			
(2) 医業外費用	53,112			
(うち支払利息)	1,401	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,871			
経常損益	-156,236			
純損益	-157,480			
累積欠損金	4,351,521			
経常収支比率	91.3		103.3	101.5
医業収支比率	78.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	72.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	18.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	74.8		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,215,967
1 固定資産	1,790,938
(1) 有形固定資産	1,776,884
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	12,889
2 流動資産	1,425,029
(1) 現金及び預金	1,156,898
(2) 未収金及び未収収益	255,063
(3) 貸倒引当金( )	395
(4) 貯蔵品	3,077
3 繰延資産	-
負債合計	1,482,982
1 固定負債	892,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	892,828
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	453,917
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,824
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,468
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	371,363
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	136,237
(1) 長期前受金	380,997
(2) 長期前受金収益化累計額( )	244,760
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,732,985
1 資本金	4,709,944
2 剰余金	-2,976,959
(1) 資本剰余金	1,374,562
(2) 利益剰余金	-4,351,521
負債・資本合計	3,215,967
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	292,558	293,392
資本勘定繰入	8,795	103,174
計	301,353	396,566

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	320.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	魚沼市		
病院名	堀之内病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	34,483	
決算規模(千円)	32,819,705	
標準財政規模(千円)	15,901,264	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	10.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,280			
1 経常収益	4,280			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,280			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	4,280			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,279			
2 経常費用	4,279			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4,279			
(うち支払利息)	4,279	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	1			
純損益	1			
累積欠損金	1,041,444			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,853	4,280
資本勘定繰入	23,763	35,644
計	26,616	39,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3855.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名	魚沼市				
病院名	小出病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,375 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	90	90.6	84.2	92.6
療養	44	95.3	83.2	90.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	134	92.2	83.9	92.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	20.8	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	34,483	
決算規模(千円)	32,819,705	
標準財政規模(千円)	15,901,264	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	10.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	780,743			
1 経常収益	780,743			
(1) 医業収益	41,385			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	41,385			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	739,358			
(うち国・都道府県補助金)	2,365			
(うち他会計補助・負担金)	429,893			
(うち長期前受金戻入)	274,252			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	854,936			
2 経常費用	854,936			
(1) 医業費用	842,009			
職員給与費	3,626	8.8	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	419,439	1013.5	8.7	10.2
経費	418,944	1012.3	22.1	28.8
(うち委託料)	666	1.6	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,927			
(うち支払利息)	12,927	31.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	91.3		103.3	104.5
医業収支比率	4.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	60.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	1138.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	60.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	36.2		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,985,000
1 固定資産	4,446,720
(1) 有形固定資産	4,446,331
(2) 無形固定資産	389
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	538,280
(1) 現金及び預金	458,519
(2) 未収金及び未収収益	80,133
(3) 貸倒引当金( )	372
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,075,249
1 固定負債	3,541,362
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,541,362
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	460,709
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	419,316
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	356
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,037
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,073,178
(1) 長期前受金	2,756,309
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,683,131
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-90,249
1 資本金	1,368,965
2 剰余金	-1,459,214
(1) 資本剰余金	136,550
(2) 利益剰余金	-1,595,764
負債・資本合計	4,985,000
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	90,249
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	482,866	471,278
資本勘定繰入	143,434	246,274
計	626,300	717,552

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3855.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	南魚沼市		
病院名	ゆきぐに大和病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	12,121 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救 へ
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	45	89.8	90.3	88.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	89.8	90.3	88.6
平均在院日数(一般病床のみ)		30.4	26.8	26.8

設立団体の状況		
人口(人)	54,851	
決算規模(千円)	36,873,250	
標準財政規模(千円)	19,543,102	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	4.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,433,704			
1 経常収益	1,433,457			
(1) 医業収益	1,214,675			
(うち修正医業収益)	1,214,381			
入院収益	471,979			
外来収益	383,566			
診療収入計	855,545			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	359,130			
(うち他会計負担金)	294			
(2) 医業外収益	218,782			
(うち国・都道府県補助金)	20,849			
(うち他会計補助・負担金)	148,127			
(うち長期前受金戻入)	12,847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	247			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,402,881			
2 経常費用	1,402,878			
(1) 医業費用	1,362,650			
職員給与費	762,672	62.8	59.4	87.7
材料費	104,090	8.6	26.1	13.6
(うち薬品費)	37,202	3.1	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,781	5.5	11.8	5.9
減価償却費	114,884	9.5	8.7	12.7
経費	379,025	31.2	22.1	45.1
(うち委託料)	146,621	12.1	11.7	21.3
研究研修費	1,063			
資産減耗費	916			
(2) 医業外費用	40,228			
(うち支払利息)	2,151	0.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	3			
経常損益	30,579			
純損益	30,823			
累積欠損金	1,754,255			
経常収支比率	102.2		103.3	101.7
医業収支比率	89.1		85.5	62.5
修正医業収支比率	89.1		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	10.4		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	91.6		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,749,331
1 固定資産	6,385,692
(1) 有形固定資産	6,384,471
(2) 無形固定資産	1,221
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,363,639
(1) 現金及び預金	423,860
(2) 未収金及び未収収益	857,449
(3) 貸倒引当金( )	6,287
(4) 貯蔵品	87,175
3 繰延資産	-
負債合計	6,117,837
1 固定負債	4,201,938
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,995,538
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,400
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,362,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	487,680
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	149,321
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	321,238
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	553,673
(1) 長期前受金	1,312,412
(2) 長期前受金収益化累計額( )	758,739
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,631,494
1 資本金	5,875,386
2 剰余金	-4,243,892
(1) 資本剰余金	20,792
(2) 利益剰余金	-4,264,684
負債・資本合計	7,749,331
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	146,483	148,421
資本勘定繰入	50,530	50,530
計	197,013	198,951

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	南魚沼市		
病院名	南魚沼市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	12,890 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	26	指定病院の状況	輸
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	140	80.2	76.6	75.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	80.2	76.6	75.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	17.0	17.0

設立団体の状況	
人口(人)	54,851
決算規模(千円)	36,873,250
標準財政規模(千円)	19,543,102
財政力指数	0.41
経常収支比率(%)	89.6
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 11.6 4.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,226,240			
1 経常収益	4,165,311			
(1) 医業収益	3,652,980			
(うち修正医業収益)	3,598,255			
入院収益	1,840,943			
外来収益	1,621,525			
診療収入計	3,462,468			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	190,512			
(うち他会計負担金)	54,725			
(2) 医業外収益	512,331			
(うち国・都道府県補助金)	26,101			
(うち他会計補助・負担金)	380,022			
(うち長期前受金戻入)	27,275			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	60,929			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,380,093			
2 経常費用	4,379,778			
(1) 医業費用	4,218,234			
職員給与費	2,342,680	64.1	59.4	67.0
材料費	805,391	22.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	417,542	11.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	387,194	10.6	11.8	9.4
減価償却費	336,538	9.2	8.7	10.2
経費	721,338	19.7	22.1	28.8
(うち委託料)	364,778	10.0	11.7	13.2
研究研修費	11,150			
資産減耗費	1,137			
(2) 医業外費用	161,544			
(うち支払利息)	13,800	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	315			
経常損益	-214,467			
純損益	-153,853			
累積欠損金	2,510,429			
経常収支比率	95.1		103.3	104.5
医業収支比率	86.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	85.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	85.2		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,749,331
1 固定資産	6,385,692
(1) 有形固定資産	6,384,471
(2) 無形固定資産	1,221
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,363,639
(1) 現金及び預金	423,860
(2) 未収金及び未収収益	857,449
(3) 貸倒引当金( )	6,287
(4) 貯蔵品	87,175
3 繰延資産	-
負債合計	6,117,837
1 固定負債	4,201,938
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,995,538
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,400
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,362,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	487,680
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	149,321
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	321,238
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	553,673
(1) 長期前受金	1,312,412
(2) 長期前受金収益化累計額( )	758,739
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,631,494
1 資本金	5,875,386
2 剰余金	-4,243,892
(1) 資本剰余金	20,792
(2) 利益剰余金	-4,264,684
負債・資本合計	7,749,331
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	428,747	434,747
資本勘定繰入	172,046	172,046
計	600,793	606,793

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			新潟県
市町村・組合名	湯沢町		
病院名	湯沢病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	10,090 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救 臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	65.8	62.3	57.5
療養	50	61.8	70.7	69.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	63.6	67.0	64.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	16.2	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	7,767	
決算規模(千円)	8,952,359	
標準財政規模(千円)	4,278,785	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	30.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	270,768			
1 経常収益	270,768			
(1) 医業収益	41,254			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	41,254			
(うち他会計負担金)	41,254			
(2) 医業外収益	229,514			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	196,918			
(うち長期前受金戻入)	32,212			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	249,570			
2 経常費用	249,570			
(1) 医業費用	240,680			
職員給与費	6,022	14.6	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	70,480	170.8	8.7	11.5
経費	157,055	380.7	22.1	32.6
(うち委託料)	5,586	13.5	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	7,123			
(2) 医業外費用	8,890			
(うち支払利息)	2,787	6.8	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	21,198			
純損益	21,198			
累積欠損金	423,926			
経常収支比率	108.5		103.3	101.5
医業収支比率	17.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	88.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	577.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	88.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	13.1		91.9	78.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,135,645
1 固定資産	2,407,234
(1) 有形固定資産	2,407,234
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	728,283
(1) 現金及び預金	728,283
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	128
負債合計	1,118,991
1 固定負債	330,435
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	330,435
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 借 入 債 務	-
2 流動負債	212,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	63,518
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	514
(6) リ 一 借 入 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未払金及び未払費用	148,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	576,513
(1) 長期前受金	1,733,772
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,157,259
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,016,654
1 資 本 金	2,080,301
2 剰 余 金	-63,647
(1) 資 本 剰 余 金	360,279
(2) 利 益 剰 余 金	-423,926
負債・資本合計	3,135,645
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備 考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	231,739	238,172
資本勘定繰入	75,856	94,877
計	307,595	333,049

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1027.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名	津南町				
病院名	津南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,163 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	45	74.7	80.8	77.0
療養	52	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	74.7	80.8	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	13.9	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	8,989	
決算規模(千円)	7,897,538	
標準財政規模(千円)	4,828,610	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	83.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	27.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,348,887			
1 経常収益	1,348,253			
(1) 医業収益	999,474			
(うち修正医業収益)	964,971			
入院収益	435,566			
外来収益	440,324			
診療収入計	875,890			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	123,584			
(うち他会計負担金)	34,503			
(2) 医業外収益	348,779			
(うち国・都道府県補助金)	3,676			
(うち他会計補助・負担金)	334,794			
(うち長期前受金戻入)	1,943			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	634			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,342,834			
2 経常費用	1,341,775			
(1) 医業費用	1,303,618			
職員給与費	592,509	59.3	59.4	76.5
材料費	118,297	11.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	47,830	4.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,155	6.1	11.8	6.4
減価償却費	62,888	6.3	8.7	11.5
経費	527,754	52.8	22.1	32.6
(うち委託料)	140,776	14.1	11.7	14.8
研究研修費	1,477			
資産減耗費	693			
(2) 医業外費用	38,157			
(うち支払利息)	2,030	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,059			
経常損益	6,478			
純損益	6,053			
累積欠損金	1,101,386			
経常収支比率	100.5		103.3	101.5
医業収支比率	76.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	74.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	36.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	27.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	73.0		91.9	78.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	966,950
1 固定資産	543,196
(1) 有形固定資産	543,196
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	423,754
(1) 現金及び預金	279,405
(2) 未収金及び未収収益	136,671
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	7,626
3 繰延資産	-
負債合計	265,544
1 固定負債	97,057
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,014
(2) その他の企業債	34,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	38,243
2 流動負債	146,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,718
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,559
(6) リース債務	21,058
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,749
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	22,010
(1) 長期前受金	37,445
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,435
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	701,406
1 資本金	1,802,792
2 剰余金	-1,101,386
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,101,386
負債・資本合計	966,950
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	172,631	369,297
資本勘定繰入	23,662	23,662
計	196,293	392,959

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名	さくら福祉保健事務組合				
病院名	南部郷厚生病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,959 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	70	71.1	75.2	74.7
療養	50	64.6	72.4	69.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	68.4	74.0	72.6
平均在院日数(一般病床のみ)		150.1	115.4	120.7

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	381,599	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	139.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	244,783			
1 経常収益	244,783			
(1) 医業収益	216,830			
(うち修正医業収益)	216,830			
入院収益	127,422			
外来収益	89,408			
診療収入計	216,830			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	27,953			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	26,173			
(うち長期前受金戻入)	1,320			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	234,230			
2 経常費用	234,230			
(1) 医業費用	214,160			
職員給与費	7,605	3.5	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	99,137	45.7	8.7	10.2
経費	107,418	49.5	22.1	28.8
(うち委託料)	79,710	36.8	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	20,070			
(うち支払利息)	20,070	9.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	10,553			
純損益	10,553			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.5		103.3	104.5
医業収支比率	101.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	101.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	93.3		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,137,822
1 固定資産	1,590,096
(1) 有形固定資産	1,590,096
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	547,726
(1) 現金及び預金	505,413
(2) 未収金及び未収収益	42,406
(3) 貸倒引当金( )	93
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,125,091
1 固定負債	914,952
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	913,805
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	1,147
2 流動負債	182,621
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	145,743
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	696
(6) リ一ス債務	1,327
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,855
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	27,518
(1) 長期前受金	51,605
(2) 長期前受金収益化累計額( )	24,087
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,012,731
1 資本金	997,168
2 剰余金	15,563
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	15,563
負債・資本合計	2,137,822
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	12,864	26,173
資本勘定繰入	97,830	49,602
計	110,694	75,775

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。